

職員の服装について



当院では、これまで1年の中でもエネルギー消費の多い季節に、環境省の設定期間に合わせて「環境保全・省エネ意識啓発」の一環として、クールビズ(夏期軽装)を励行してきました。

しかし、近年顕著な気候変動による影響などを考慮し、省エネルギーに配慮しながらも年間を通じて各自が柔軟に適温で業務できる環境を整備することが職員の働きやすさにつながるとの理由から、現在、新たなドレスコードとして「ビジネスカジュアル」の導入について検討を進めています。

そのため、クールビズ期間は10月末で終了いたしましたが、暫定措置としてユニフォームの着用義務がない職員を対象に、院内ではジャケット、スーツ、ネクタイの着用を義務付けないなどクールビズに準じた服装を継続することとしています。当院職員の服装が略式となりますことを何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

《新型コロナウイルス感染拡大防止対策》 電話(オンライン)診療のお知らせ



亀田クリニックでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、電話による診療を行っています。

対象となるのは、定期的に受診している方(再診の患者さま)で、医師の承諾が得られた患者さまです。電話診療はその都度、医師が実施の可否を判断いたしますので、ご希望の方は対面診療時に医師へご相談の上、ご予約ください。

なお、電話診療は、対面診療に比べ、触診・聴診などが行えない等の理由により、患者さまの心身の状態に関して得られる情報が限定されます。また、電話診療を繰り返すことで、対面診療を6か月以上あけることはできませんので、あらかじめご了承ください。

お薬については、医師の判断のもと、これまでと同一の処方に関り宅配でお届けいたします。お薬処方時は、宅配料(着払い)とは別に保険外併用療養費(税込500円)が必要となります。



防災訓練実施のお知らせ

来る11月21日(土)の午後、火災を想定した防災訓練を亀田総合病院にて実施いたします。

今回の訓練では、厨房内での火災発生時の対応や、医療者がいない場所で火災による負傷者がした場合の対応と連携を検証する予定です。



訓練中は、非常放送設備を使用した放送訓練も合わせて行うため、何度も非常放送が流れることがあります。入院患者さまをはじめ来院者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。



亀田クリニックでは、パソコンやスマートフォンからご自身の外来予約情報(診察・検査・リハビリ)を確認できるサービスを開始しました。

「予約の日時をうっかり忘れてしまった」「予約票を紛失してしまった」という方は、ぜひこちらのサービスをご活用ください。(近年、上記の理由でお問い合わせをいただくことが増えており、予約センターの回線がつながりづらくなる一因になっています。バーコード付きの予約票は自動再来受付機で受付をする際に、診察券の代わりとして使用することができ便利です。捨てずに保管いただけますと幸いです)

【利用方法】

まずは、お手元に診察券をご用意いただき、右記初回登録QRコードまたは初回登録用URL(https://www.kameda.clinic/booking_confirmation/signup/)から「登録」を行ってください。(※ご登録いただけるのはご本人のみです)



登録が済んだら、次は確認用QRコードまたは確認用URL(https://www.kameda.clinic/booking_confirmation/)から「外来の予約情報」を確認してみてください。なお、予約情報は翌日以降反映されます。また、診療上の都合により、情報を非公開とさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。



■新規予約・変更は「予約センター」へ

☎04-7099-1111(8:00～17:00/日曜・祝日除く)



ロタウイルスワクチンについて

これまで任意接種(自費)での取り扱いだった「ロタウイルスワクチン」が2020年10月より定期接種(公費)に指定されました。定期接種の対象は、2020年8月1日以降に生まれた乳児となります。ロタウイルスワクチンは乳幼児のロタウイルス感染による胃腸炎を予防するためのワクチンです。コロナ禍ではありますが、予防接種は延期せず必要なタイミングで接種するようにしましょう。

ロタウイルス感染症とは？

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児期(0～6歳ころ)にかかりやすい病気です。ロタウイルスは感染力が強く、5歳までにほとんどの子どもが感染すると言われ、例年冬から春にかけて流行します。

主な症状は？

大人はロタウイルスの感染を何度も経験しているため、ほとんどの場合、症状が出ません。しかし、乳幼児は、激しい症状が出る事が多く、特に初めて感染したときに症状が強く出ます。主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐(おうと)、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。

ロタウイルスに感染すると、2～4日の潜伏期間(感染から発病までの期間)の後、水のような下痢や嘔吐が繰り返し起きます。その後、重い脱水症状が数日間続くことがあります。発熱や腹部の不快感などもよくみられます。合併症として、けいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあり、死に至る場合もあります。水分が摂れずぐったりする場合は近くの医療機関へご相談ください。

治療法は？

現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。下痢止めも有効ではありません。このため、脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給することなどが治療の中心になります。

予防法は？

感染を拡大させないためには、オムツの適切な処理(使い捨てのゴム手袋などを使い、捨てる場合はポリ袋などに入れる)、手洗いの徹底、吐物や便で汚れた衣類の次亜塩素酸消毒などによる処置が必要です。しかし、ロタウイルスの感染力は非常に強いので、これらの対策をとっても感染を完全に予防するのは困難です。

そのため、**乳児へのロタウイルスワクチンによるロタウイルス感染症の重症化や合併症の予防が大切です。**

ロタウイルスワクチンとは？

現在、ロタウイルス感染症を予防するワクチンには、「ロタリックス」(1価ワクチン/2回接種)と「ロタテック」(5価ワクチン/3回接種)の2種類があります。ロタウイルスの病原性を弱めて増殖させ、精製してからシロップ状にした飲むワクチンです。どちらもロタウイルス感染症に対して同様の予防効果が見込まれていますが、それぞれワクチンの接種回数や接種量が異なるため、原則として同一製剤により接種を完了する必要があります。初回接種は生後14週6日までにいきます。これは、最も注意すべき副反応である腸重積症の発症を最小限にするためです。

なお、亀田クリニックでは「ロタリックス」(1価ワクチン/2回接種)を採用しています。生後6週以降に初回接種(1回目)、4週間以上の間隔をおい



て2回目を内服していただきますが、2回目は遅くとも生後24週までに終了する必要があります。生後2か月で受けるヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎ワクチンとの同時接種ができますので、「小児科/予防接種外来」にてご相談ください。

⇒ 予防接種のご予約は、予約センターまで。

☎ 04-7099-1111

(8:00～17:00/日曜・祝日除く)

参考サイト：厚生労働省「ロタウイルスに関するQ&A」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakukansenshou19/Rotavirus/index.html>

医師紹介

きくち 菊地 良 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①眼科
- ②眼科
- ③旅行、映画鑑賞
- ④精一杯、診察させていただきます。宜しくお願い致します



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>